

発明の「種」を逃さない：NTTドコモビジネスのアイデアシート作成支援AI

発明者の負担軽減と知財の質向上を両立する、NTTの新サービスの価値と特徴を伝える。

課題解決：発明者の心理的負担をAIとの対話で解消



作成時間の短縮と心理的ハードルの低下
キャノンとの実証実験で、発明の整理・言語化の効率化を実証済みです。



対話型ワークフローによる思考の深掘り
プレインストーミング形式で、既存特許との差異や優位性をAIが分析します。

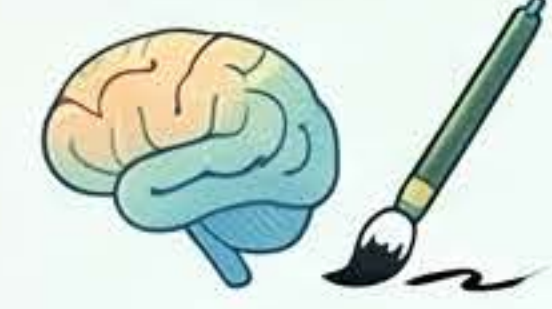


「Human in the loop」による品質担保
AI任せにせず人間の利便を介在させ、法的リスク（発明者性）を低減します。

戦略的優位性：大企業が安心して導入できる強固な設計



閉城環境（オンプレミス）での構築に対応
機密性の極めて高い未公開發明情報を、自社専用の安全な環境で管理できます。



純国産LLM「tsuzumi 2」による高い日本語性能
高い日本語処理能力と軽量を備えた自社基盤の活用により、高精度な支援を実現。



純国産LLM「tsuzumi 2」による高い日本語性能
高い日本語処理能力と軽量を備えた自社基盤の活用により、高精度な支援を実現。



知財業務全般への機能拡張を予定
将来的には先行技術調査や拒絶理由対応まで、支援範囲を拡大する計画です。

比較：競合他社（SaaS型）とNTTドコモビジネス（個別導入型）の思想の違い

比較項目	NTTドコモビジネス（本サービス）	一般的な競合SaaS
重点工程	発明の掘り起こし・思考整理	明細書の一気通貫生成・効率化
提供形態	プライベートクラウド / オンプレミス	パブリッククラウド（SaaS）
設計思想	人間の判断を重視（Human in the loop）	自動生成によるスピード重視